

## LPガスCP速報(2019年6月積)

### 1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **430** <sup>ドル</sup> (前月比-95 <sup>ドル</sup>)

ブタン **415** <sup>ドル</sup> (前月比-115 <sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が急落するなか、中国、インドの需要が減退、供給は米国産が濃霧やヒューストンシップチャネルの事故の影響も解消し潤沢、需給は緩和した。

中東市場は、インドのブタン需要が減退、中国需要もPDH需要が低下するなか、米国産が流入し需給は緩和(ヒューストンのタンカー事故も影響は軽微)、第4週には、原油市況の急落を受けて、CP先物、CFR市況も大幅に下落、極東CFR市況はプロパン440 <sup>ドル</sup>、ブタン420 <sup>ドル</sup>まで下げている。フレート市況が米国回航船の増加とインドの滞船により中東積み備船がタイト化したため高値で推移、ネットで下押し要因となった。

全米プロパン在庫は、輸出が増加し過去最高水準(グラフ①)となっているが、需要がピークを過ぎ大幅に減少、在庫は10週連続で増加し、前年同期を60%上回っている。米モンベルビュープロパンスポット価格をみると、原油市況に追随、中旬までは310~330 <sup>ドル</sup>どころで推移(グラフ②)していたが、原油が急落した23日には270 <sup>ドル</sup>まで急落、月間平均では300 <sup>ドル</sup>どころで前月比30 <sup>ドル</sup>どころの下落。

ナフサは原油に追随し軟調、月間平均は563.8 <sup>ドル</sup>、前月比18 <sup>ドル</sup>の反落。バンカーC重油は原油に連れ安、月間平均で423 <sup>ドル</sup>どころ、前月比12 <sup>ドル</sup>安。

6月CPは前年同月比プロパン130 <sup>ドル</sup>、ブタン145 <sup>ドル</sup>それぞれ安い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン15ポイント、ブタン19ポイント下落、前年同月比ではプロパン17ポイント、ブタン20ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	58.1	54.7	56.7	60.6	57.5
CP先物指標:P	435	460	450	430	444
CP先物指標:B	430	440	425	405	425

#### ② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、1日の63.60 <sup>ドル</sup>から軟化が続き、第4週に急落、23日には3月12日以来の57.91 <sup>ドル</sup>まで下げている。フジャイラ沖でサウジのタンカー攻撃、サウジ東部の原油パイプラインドローン攻撃、アラブ連合軍のイエメンフーシ派拠点空爆、イラクバグダッドやサウジメッカへの弾道ミサイル発射、米国のペルシャ湾空母派遣、中東への増派兵等々、米・サウジ対イランの中東地政学リスクとOPECプラスの協調減産等で原油価格は高値で推移してきたが、米中貿易戦争による世界景気減速・石油需要下振れ懸念が強まった。

一方、米国内原油生産量は、シェール増産により過去最高(1,230万b/d)水準を維持、原油輸出は増加したが、製油所稼働率が上がり原油在庫が大幅に増加し高水準、直近の在庫は対前年同期比108.8%まで積み上がり供給過剰感(グラフ③)。なお、米石油リグ稼働数は減少傾向が続き、24日時点で前年同期を62基下回る797基となった。

NYMEXのWTI総取組高は第4週に減少し、210~208万枚で推移。CFTC発表の大口投機玉の買越残高は減少が続き21日時点では478千枚と3月末以来の水準まで落とした。買建玉が586千枚に減少、売建玉も107千枚まで減少、株価急落でリスク回避の動きが強まった。

#### ○5月積みアラビアン・ライト(5月1~27日の想定)は71.50 <sup>ドル</sup>(前月比-0.75 <sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン586.23 <sup>ドル/トン</sup> ブタン578.19 <sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン73.35% ブタン71.78%

\*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

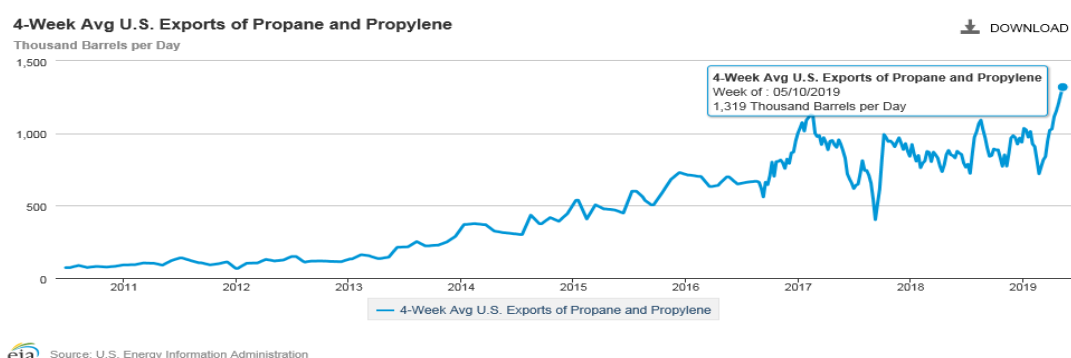
## 2. 2019年6月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	111.61	53,300	58,700	57,400	-5,000	-7,000	-4,600
②末日締め	110.94	53,000	52,400	50,500	-5,600	-7,600	-5,100

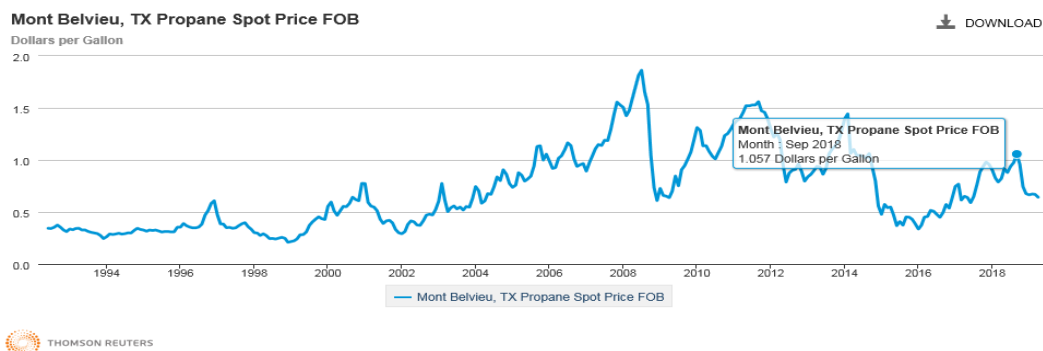
\* TTS平均について、①が4月21日～5月20日、②5月1～28日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは5月24日までの価格を基にEINで試算（298ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

### ①米プロパン輸出量推移



### ②MBプロパンスポット価格推移



### ③全米原油在庫推移

